

2017年度 第2期 日本大学経済学部

作成者

問題

人口減少社会が経済、社会に与える影響を論じなさい。

解答

人口減少社会とは、少子高齢化の進行により出生率が死亡数を下回ることである。人口減少が起きる原因として、出生率の低下が考えられる。1985年に制定された「男女雇用機会均等法」により、働く女性の数が増加した（総務省調べ）。しかし、仕事と育児を両立できる環境が整っていないなどといった理由から、晩婚化や晩産化につながり、出生率の低下に繋がったと推測されている。

人口減少が社会に与える影響として、労働力の不足による行政サービスの低下が挙げられる。1990年台をピークに生産年齢の人口が減少傾向にあるとされている（総務省調べ）。労働力が不足することによって、労働者1人あたりの負担が大きくなり、長時間労働やワークライフバランスの崩れが生じる。その結果雇用の崩壊が起き、労働者の減少による安定した税収の確保が難しくなる。しかし高齢者の数が増えるため、社会保障支出が増加し、行政は適切なサービスを提供することができなくなる。

以上を踏まえ、解決策として2つ述べる。1つ目は外国人労働者の受け入れ拡大である。「出入国管理及び難民認定法」により外国人労働者の受け入れについて見直しを行なったが、在留資格を得るためには厳しく、特定技能と指定されている14種類の職業しか許可されていない。そのため、受け入れを拡大し人手が足りない分野を積極的に補う必要がある。2つ目は働く女性の支援である。行政による子育て支援制度、男性の育児休暇の推進、テレワークや在宅ワークの積極的活用などを行い、女性が子育てしやすい環境を整備することが、出生率低下につながる。

人口減少によって、担税力がある労働者の減少や高齢者の増加など、様々な問題が発生する。まずは日本で働く労働者を増やしたり、働きやすい職場環境を作るなどといった、現在働いている労働者の負担を減らす政策を行うことが問題解決の第一歩だと私は考える。（774文字）

骨格

- ① 人口減少社会とは
- ② 社会に与える影響（労働力の不足による行政サービスの低下）
- ③ 解決策（外国人労働者の受け入れ・女性労働者の支援）
- ④ 最後に